

# 斜視・弱視

## 斜弱とは？

普通、ものを見る時には、右目も左目も見ようとするものも方向を向いています。ところが、片方の目が見ようとするものを見ているにも関わらず、もう片方の目が目標と違う方向を向く場合があります。これを斜視といいます。

## 斜視はどうやって調べるの？

斜視は両目の向きが異なるため、少し気をつけると家族の方が見ても分かります。斜視は早期に治療しないと、弱視やものが二重に見える複視の原因になりますので、斜視に気づいたら、早く眼科を受診しましょう！！

## 斜視はどうやって治すの？

斜視の原因が遠視の場合には、通常凸レンズのメガネをかけて、遠視の矯正をします。時には、調節を改善する目薬を用いる事もあります。

また、原因が遠視以外の場合には目の筋肉を調節する手術を行うこともあります。

ただし、手術で目の向きを治しても、まれに両眼視できない場合もあります。

この場合には、両眼視のための訓練を行う必要があります。



## 弱視とは？

子供がテレビにくっついて画面を見ている、本をすごく近くでみている。  
弱視は、視力が発達する途中の乳幼児の時期に、ものをはっきりと見ることができない状態にあったため、視力の発育が止まってしまった病気と考えられています。

## 弱視はどうやって調べるの？

子供の目の発育には、たえずものを見る訓練が必要です。もし子供の視力が発達する途中で、たえずものを見る訓練ができなかったらどうなるのでしょうか？この場合、視力の発達は抑えられ、止まってしまいます。矯正で視力が 1.0 以上出る場合には弱視といいません。

## どうして弱視になるの？

斜視・遠視・その他生まれつき目の病気がある場合、乳幼期に眼帯を長い間つけたいたした場合などで弱視になる場合があります。



## 弱視は治るの？

三歳までに見つかり、治る可能性は高くなります。弱視を治す方法としては、遠視が原因の場合には遠視用メガネをかけます。その他の場合には弱視の視力増強訓練を行う必要があります。

目の機能の発達にもっとも大切なのは幼児期で、家族の方のちょっとした注意で斜視や弱視が見つかることがあります。神経質になりすぎる必要はありませんが、少しでもおかしいと思ったら必ず眼科に相談しましょう！！